

## 修士の学位申請に関する手続き及び審査体制・基準等について

### 1 修士の学位

修士課程または博士課程前期課程に所定の期間在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち、当該課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者は、その課程を修了した者とされ、修士の学位が授与されます（大学院学則第 24 条、第 26 条）。

### 2 修士論文審査体制・方法

#### (1) 審査体制

修士論文の審査は、研究科委員会の定める審査委員によって行います。

審査委員は、当該修士論文に関連ある研究領域の教員 3 名以上とし、主査を 1 名、副査を 2 名以上とします。ただし、特別の事情がある場合には副査を 1 名とすることがあります。

#### (2) 審査方法

##### ① 最終試験

修士の学位に関する最終試験は、修士論文の提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文を中心とし、試問の方法によって行います。試問は、口頭によりますが、筆答試問を併せ行うことがあります。

##### ② 審査期間

修士論文の審査及び最終試験は、当該修士論文の提出期限後 3 カ月以内に終了します。

##### ③ 審査結果

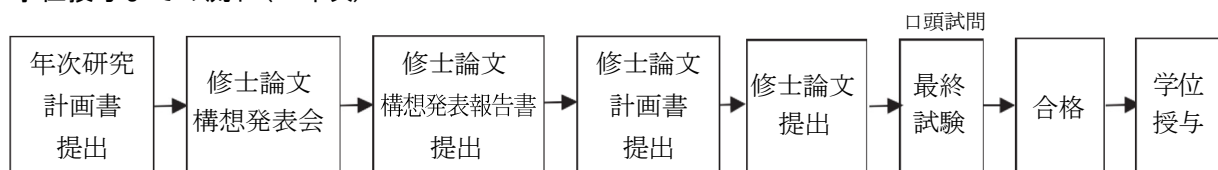
修士論文の審査及び最終試験の結果は、研究科委員会の承認を得て決定します。

### 3 修士論文審査基準

学位の授与（修士）に関わる論文の審査にあたっては、以下の審査項目を踏まえ、総合的に評価します。

- (1) 研究目的が明確であること。
- (2) 専門分野に関する十分な知識を有し、先行研究を的確に検討していること。
- (3) 研究資料の収集が適切であり、分析や考察が的確であること。
- (4) 論理や叙述の一貫性を有し、形式や表記が適切であること。
- (5) 新しい知見や独自の観点があること。

### 4 学位授与までの流れ（2 年次）



## 5 スケジュール(2年次)

詳細な日程は、別紙「提出要領」を参照してください。

期 限 (期 日)		
事項	3 月期学位授与	9 月期学位授与
年次研究計画書の提出	4 月末まで	10 月末まで
修士論文構想発表会	9 月下旬	4 月中旬
修士論文構想発表報告書の提出	9 月下旬	4 月中旬
修士論文計画書の提出	10 月中旬	4 月中旬
修士論文の提出	1 月中旬	7 月中旬
最終試験 (口頭試問)	2 月中旬	7 月下旬

## 6 修士論文提出要件

博士課程前期課程に1年以上在学し、所定の授業科目のうち20単位以上を修得した後、学位取得計画を提出しなければ、修士論文を提出することはできません。

## 7 修士論文計画書の提出について

提出期の計画書(様式)は、別紙をご確認ください。

- (1) 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しません。
- (2) 修士論文計画書の提出前に東アジア文化研究科の主催する「修士論文構想発表会」において論文計画を発表し、研究科委員会において可とされなければ、修士論文計画書を提出することはできません。
- (3) 修士論文計画書には指導教員の承認印もしくは署名を受けてください。
- (4) 既に提出した論文計画の変更は認められません。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て「論題変更届」を提出し、研究科委員会に可否を諮ることができます。
- (5) 計画書を提出したが、修士論文を提出しない場合は、指導教員の承認を得て「修士論文提出の辞退について」を教務センターへ提出してください。